事業完了報告書

提出日：2023 年 4 月 14 日

１．事業概要

（1）実行団体名：一般社団法人無限
（2）事業名　：　未来の福祉育成プロジェクト
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：パブリックリソース財団

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☐　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☑　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 ＨＰへの公開を外注しているため。４月中には公開予定
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ □ 外部に窓口を設置 ／ □ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
□ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 ＨＰへの公開を外注しているため。４月中には公開予定
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／ □ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
□ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況	
☐ 自団体のウェブサイトで表示している	／ ☑ 広報制作物に表示している
☐ 報告書に表示している	／ ☑ イベント実施時に表示している
☑ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：動画	

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	無	
広報制作物等	有	本事業の実践発表会の広報物にて使用
報告書等	有	実践発表会の公開動画に掲載

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

本事業を通して、組織基盤に対して長期間の取り組みが可能となり、組織体制の変化について設計から職員に対する働きかけ、変化後のフォローまで包括的に取り組むことができた。今回は、組織体制の変更に主眼を置いたため、個人の行動変容のフォローが充分にできたとは言い難い。今後は、職員一人ひとりの働き方や組織との関連性に対して、アプローチする必要があると考える。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

活動写真説明

mugen_1
今の組織を粘土で表現
職員に対する研修の一環として自分たちの現在地を知るためのワークを実施。粘土を使って現在の組織を表現し、客観的に自分たちの組織状態を認知・分析した。

mugen_2
外部講師を招いての研修
自己組織化組織（ティール型組織）をすでに実践されている組織（株式会社 BowL（沖縄県））から講師を招き、職員に対して自己組織化組織（ティール型組織）の特徴や実践内容を解説していただいた。

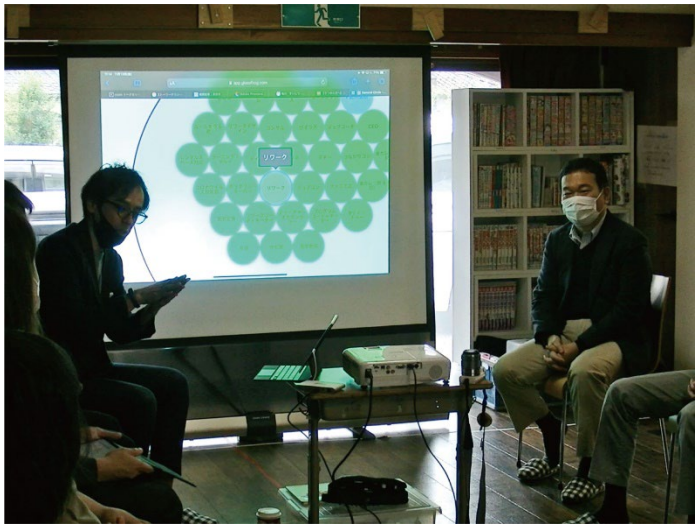
mugen_3
ビジョンメイキング
無限のビジョンを決めるためのビジョン会議を３回に渡って開催。初回は、無限の役割や立ち位置を確認した。画像は、これから起こる環境変化について考えている場面（第１回）この後、想定する環境変化に対する無限の社会的役割を考えた。

mugen_4
新体制キックオフミーティング
新体制の開始にあたり、丸１日かけて組織全体でキックオフミーティングを行なった。全事業所を休所にしたのは法人設立以来初めてのこと。キックオフミーティングでは、新体制の確認の後、各サークル（事業所）にわかれて、ロール（役割）やパーパス（目的）の策定を行なった。

mugen_5
目標発表会
新体制の取り組みとして、職員一人ひとりが自分で目標を立て、１年間それに向かって努力や研鑽を積み重ねる評価制度を導入。年度始めに全員が１年間の目標を発表する機会を設けた。初回ということで、目標の策定や発表は個人に委ねたが結果的に職員全員が年間の目標を立てるに至った。

mugen_6
３年間の実践発表会
３年間の自己組織化の実践内容を、地域や他の福祉事業所に提供するため実践発表会を行なった。当日参加、配信希望を合わせ予想を超える 50 名以上の申し込みをいただき、社会における自己組織化組織（ティール型組織）への関心の高さが窺えた。

環境変化


リワーク